

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 17 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870700501
法人名	有限会社 和みの会
事業所名	グループホーム 春のうらら
所在地	大洲市新谷乙917番地1 (電話) 0893-25-6753
管理者	簗島 美保
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15
訪問調査日	平成 20 年 10 月 15 日
評価確定日	平成 20 年 11 月 19 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 12 月 5 日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	18 人
職員数	16 人
常勤	14 人
非常勤	2 人
常勤換算	14 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷金	有()円	〇 無	
保証金の有無	有()円	有りの場合	
(入居一時金含む)	〇 無	償却の有無	
食材料費	朝食 300 円	昼食 300 円	
	夕食 400 円	おやつ 100 円	
	または1日当たり	円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 1 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	5 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 85.3 歳	最低 63 歳	最高 98 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし 指定認知症対応型通所介護
届出	なし 短期利用型共同生活介護
加算	あり 医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

やや高台にあるホームは季節の風や香りを感じられ、自然を満喫することができる。木造のユニットの間にある広いバリアフリーのデッキを利用して、運動会や夏祭りを開催している。職員は、経験豊富な利用者から学ぶこと、励まされること、癒されることが多く、理念を軸にしたケアに熱心に取り組んでいる。地域の中のホームであるという認識は高く、そのための機会を積極的に捉え、工夫しながら地域との交流を進めている。その人らしさを大切にするために、会話の中から察知したり、傾聴したり、表情から思いを把握するなどに努めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)

改善計画書を作成し、項目に優先順位を設けて前向きに可能な限り改善していく意欲がうかがえる。主な課題として災害対策における地域の協力が挙げられていたが、運営推進会議をきっかけに近隣の方々の依頼も含め順調に進めている。職員の育成において研修や資格取得に向け運営者の熱意が感じられる

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)

全職員が一つ一つの項目について丁寧に日常のケアの振り返り・見直し・反省点も含め文章で表現し、熱心に取り組んでいる。スタッフ会で持ち寄り、検討しながら練り上げていったが、経験の浅い職員にとっても評価のねらいや活用方法への理解が一段と深まっている。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)

地域密着型のホームとして地域に根付いていくために運営推進会議の役割は大きく、関係の広がりや交流の深まり、会議回数の増加などが顕著である。今後はテーマを決めて双方が学習することができる場を作ること、より大きな展開が期待できる。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)

重要事項説明書に苦情等相談窓口を明記し、本人及び家族に入居時に説明している。苦情だけでなく、要望や意見に対しても傾聴し、対応している。家族が何でも話せる雰囲気づくりを心がけ、真摯に受けとめて改善に取り組む、記録に残している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)

保育園児、中学生、高校生との交流は盛んに行っている。寺の花まつりに参加して声をかけていただいたり、餅まき・紙芝居等の企画は利用者の楽しみな行事の一つとなっている。隣近所の方との関わりもあり、持ちつ持たれつの関係を築いている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

春のうらら

(ユニット名)

菜の花

記入者(管理者)

氏 名

簗島美保

評価完了日

平成 20 年 9 月 1 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域と共に温かいうらかなホームを目指しお一人ひとりをとても大切にしようと独自の理念を柱として作り上げました (外部評価) 「お一人おひとりのその人らしさを大切にしながら、地域にとけ込んだ暮らしの中でうらかなあたたかいホームを目指します。」と理念に掲げている。地域との関係性を重視し、一人ひとりの心や生活を大切に思いながら日々のケアに専念している。	※	もっと簡単に分かりやすい理念に変えて行きたい
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 食堂やロッカーに理念をかかげサービス提供前に意識づけながら日々の実践に取り組みスタッフ会で話し合っている (外部評価) 職員は、当ホームらしい理念と捉え、大変気に入っているとの話を伺えた。理念が利用者の喜びや家族の安心の源となり、職員の遣り甲斐に繋がっており、常に理念に立ち返りながらケアに取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 公民館や病院などにパンフレットを設置したり、地域の集まり(掃除、イベントなど)の参加したり、うらら新聞を発行し地域に配ったりと事業所の雰囲気や実践を伝えるようにしている		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩途中にベンチを設置して、近隣の方々と気軽に話しが出来るようにし、行事（そうめん流し、夏まつり）などに近所の方々をお呼びしてふれあう機会を設けている	※	回覧版を回す時に利用者にも一緒に行っていただけるように声かけして行きたい
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) お寺の花まつりや地域の行事（運動会、まつり）に積極的に参加しており、地元の方も暖かく迎えて下さっている (外部評価) 地域の一員として根付いていくことを目標に、機会を捉えて取り組んでいる。散歩に出かけた際に挨拶を交わしたり、車で道行く人に逢った時にも止まって車から窓を開けて声をかけるなどしている。		中学校と福祉体験で5名の参加あり交流することが出来たので継続して行きたい
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近隣の高齢者のゴミ出しなどのお手伝いを行っている。電話番号が分からなく困っていたので、探して掛けてあげたりといつでも困った時は、ホームにお越し下さるように声かけしている	※	地域住民を対象に認知症の理解や接し方などの講演を開催して行きたい（キャラバンメイトの啓発）
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) サービス評価の意義や目的を全職員に伝え全員で自己評価に取り組んでいる。改善に向けて具体的案を立案するように努力している (外部評価) 自己評価は、ユニットごとに全職員が一つひとつの項目について自分の言葉で文章化し、ミーティング時に討議して内容を深めていった。評価についての改善計画は記録にも残し、意欲的に進めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で取り組みの報告をして構成委員より率直な意見や情報を頂き具体的な次の取り組みに繋げている		
			(外部評価) 2か月に1回実施し、地域の理解や支援を得るための貴重な機会になっている。内容が報告・計画・反省に留まることなく、双方の学習の場として展開していくことが望まれる。	※	利用者が生き生きと過ごせるためのサービスの質の向上に活かせる内容を討議、学習していく場となることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 分からない事等よく相談したり、利用者の入退居、介護計画書など市町村担当者の所へ書類を持って行き会話を する機会を作り取り組みなど情報を話している。管理者は、グループホーム連絡協議会の南予地区のブロック長をしているので、研修にお誘いや情報を共有してサービス向上に取り組んでいる		
			(外部評価) 施設長は元市役所勤務であり、顔馴染みの職員もおり、ホームの運営関係で相談することがある。書類提出等の際には市に出向き、利用者のサービス向上のための連携を深めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護や成年後見制度について昨年度は、勉強会で説明はしたが今年度は、8月に成年後見制度を利用している利用者の入居があり又、これから必要になってくるのでもう一度取り組みが必要である	※	早期に成年後見制度の勉強会を実施し、職員の理解を深めて行くようにする
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ホーム内で虐待防止関連法について勉強会を開き、虐待防止を徹底している。分かりやすく説明し、虐待の発見時の対応もマニュアルにて周知している		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用料金や転倒などのリスク、重度化や看取りについて契約時に詳しく説明して同意を得るようにしている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の訪問を受け入れ、相談にのって頂いたり、利用者の言動や態度からその思いを察し利用者本位の支援を心掛けています		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月ホームの新聞の家族たより欄があり日々の状態を報告し、金銭についても使用の確認やレシートを送り金銭出納関係を報告している (外部評価) 利用者の生活ぶり・エピソード・衣替えのお願い・行事予定等と、担当者による一筆も添えた「ホーム便り」は家族にも好評である。家族等の来訪時には積極的に声をかけ、健康状態や日頃の様子を伝えながら、意見や要望を話しやすい雰囲気づくりに努めている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族参加の行事や面会時に意見や苦情などが上げられた時、前向きに受け止めスタッフ会で話し合い反映させている（苦情ボックスも設置している）入居者にも説明している (外部評価) 苦情は宝と考えている運営者や管理者の姿勢は家族からも信頼を得ている。意見や苦情等の内容、対応、結果、今後の対策等を記録に残しており、何度でも見直すことができるようにしている。また、家族会の設立を検討している。	※	きちんとした家族会の発足が出来てないので、家族同士の集まりで意見を自由に出しあえるような家族会でホーム中心でなく、家族会が中心の活動を期待しそう言う仕組みを作って行きたい

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全体のスタッフ会で、職員の意見、要望を聞き、意見を反映するように心掛けている。職員の提案は、即実行して見るようにしている	※	職員の立案をみんなで共有するように改善、意見ノートを設置して質の向上に取り組んでいきたい
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状況に応じた対応ができるようにある程度の人員のゆとりを持ってシフトを組んでおり、緊急や診察などに対応している		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は必要最小限にとどめている。離職も病気や結婚などであったが余りない (外部評価) やむを得ない離職や異動は利用者や家族にもきちんと報告しており、職員の声かけや対応により利用者への影響は見受けられない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 上部機関が開催する研修に積極的に参加させたり、月1回のスタッフ会時に基礎研修等を管理者が行っている (外部評価) 運営者と管理者は、職員の研修参加に理解があり、職員育成への熱意も感じられる。ホームの立ち上げ時には、県グループホーム連絡協議会の会長をスーパーバイザーとして相談し、問題解決に取り組んでいる。研修参加後は伝達研修を行い、報告書も残している。	※	職員のモチベーションを上げ年1回は、研修に行ってもらえるように声かけをして行く。研修参加の計画を立てる

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 今年度から市内のグループホームを順番に視察研修しており、ネットワークが強くなったし、刺激も見受けられ非常に良かった (外部評価) 市内グループホームの視察をして説明を聞いたり、理念やケアにおける悩みごとについて話し合うなどして、交流を深めると共に日々のケアに活かしている。		全職員が交代で視察に行けるように声かけていく
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 常に声かけをして何でも言いやすい雰囲気づくりに努めており、リーダーからの情報も汲み上げている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 常に見ているし、感謝の気持の表現しているつもり、運営者も現場に入り職員の事を把握するように努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に面談し、生活状況を把握するようにし、本人や家族に会って不安にならないように十分に説明し思いを受け入れながら信頼関係を作るよう努めている	※	入居して間もない時ご家族が遠くに居る場合などこちらから電話や写真など様子を知らせている
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 御家族の体験や今までの経緯を事前に聞いたり、状況に合わせて事業所としてどのような対応ができるか話し合い、御家族自身を受け止める努力をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 御本人、御家族の思い、状況等を確認しながら地域のケアマネジャー等と連携を図りながら必要なサービス機関に繋げる柔軟な対応をしている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居前に利用希望者、御家族と共にホームに来て頂き、施設案内や利用者とお茶を飲んで会話し不安を与えないように又安心して頂けるようにしている (外部評価) まず、本人や家族にホームを見学してもらうことから始めており、ソファでゆっくりお茶を飲むなどしながら安心して過ごしてもらえるよう配慮し、信頼関係を築いていけるよう努力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事、掃除、畑作業など生活の色々な場面で利用者と共に行い利用者から教えて頂くことも多く、共に支え合い利用者の力を引き出すようにしている。不満や喜びを聴いて、共に喜んだり、励ましている (外部評価) 人生の先輩として今まで培ってきたことを披露してもらう場面も多く、教えられること、助けられること、学ぶことが数多くあり、職員はそれに対して「すばらしいですね」「ありがとうございます」など、言葉でお礼の気持ちを伝えている。職員が出勤すると、利用者から「おかえり」と言ってもらえることもある。	※	もっと年中行事や地域行事を取り入れ利用者の得意分野を引き出したい
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時や手作り新聞など暮らしの出来事や状況を伝えたり、家族と同じ思いで本人を支えられるように対話し話し合っている	※	疎遠になっている家族との関係をサポートしていきたい

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事などに御家族をお誘ったり、疎遠にならないようにホーム側より電話で会話して頂けるように努めている。 外出や外泊で一緒に過ごすことをお勧めしている	※	行事などに御家族を頻会にお誘いするようにする
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人、友人に訪問していただいたり、美容室などに行くなど1人ひとりの生活習慣を尊厳し、交流の手助けをしている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 個別に話を聴き、相談にのるなどお互いの関係が上手くいくように職員が調整役になって支援している	※	毎日のお茶や食事などにスタッフも加わり多くの会話をもちコミュニケーションをはかる。また、利用者同士の円滑な関係を築いている
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居された後もお会いしたり、退居後亡くなられた時もお葬式や通夜に参列させていただいている	※	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) できるだけその人らしさを大切にし、日々のことばや表情などから真意を察したり、意思疎通が困難な利用者は、御家族や入居時に情報を得るように努めている (外部評価) 理解力はあるが会話が困難で体調が安定しない利用者にも、笑顔で明るく接しながら声をかけることにより、微妙な調子や気持ちを把握することが可能になっている。センター方式を活用したり、介護記録に気づいたことを記録することで共有し、役立てている。	※	これからも本人や御家族の思いを尊重しながらの支援に心がけて行きたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター方式を利用して日常の会話の中や面会時、御家族より聴き取り情報の把握に努めている	※	職員全員がセンター方式を使いこなせるように勉強会をして行く
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 色々な場面で表情や行動を見極めながら出来る事を引き出しその人全体の把握に努める。出来たことに対して誉めて自信をつけさせるように心がけている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画を職員で話合って、御家族や利用者からも必ず意見を聴き取り本人の思い意見を尊重して介護計画に反映できるようにしている (外部評価) 利用者の日々の様子をよく観察していく中で、気づいたことなどをスタッフ会議で意見を出し合い、介護計画を立案している。計画更新の際には、特に家族の要望も反映させながら作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 1ヵ月に1回の評価を行い、現状に添って3ヵ月に1回は、見直しを行っている。状態の変化があれば現状に即した計画に変更して作成している (外部評価) 介護日誌を、介護計画の見直しを行う時の大きな手がかりとしている。利用者の状態やレベルの低下が見られた時には、その都度ふさわしい計画になるよう検討している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別に日々の言葉、ケアプランの内容の実行を介護記録に記入しケアプランには、青線を引いて職員が共有できるようにし、見直しにも活用している。	※	気づきやアイデアを介護記録の中に「A) ~と」記入して実行しその結果や変化を記録に残すように取り組んでいる最中です
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 御本人や御家族と利用者の状態に合わせた柔軟な対応が行えるように努めている (外部評価) デイサービス実施を計画したこともあったが、実施には至っておらず、今後の課題となっている。運営者を中心に、多機能性を活かした支援に積極的に取り組んでいくという意欲がある。	※ ※	今後、運営者と相談していく デイサービスの実施など、利用者や家族の要望に応じた取り組みを深めていくのは今後の課題であるため、より臨機応変に柔軟に対応できるよう取り組んでいくことを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者が地域での暮らしを続けられるように民生委員やボランティアなどの協力して頂いている。(大正琴、和の会の踊り、プランケット紙芝居など)	※	地区の警察と運営推進会議のメンバーや巡回などの依頼したり又、お寺、学校などとの協力を呼びかけ交流を図って行く
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在他のサービスを利用していないが、希望に応じてその都度対応ができるようにしている		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 成年後見制度を利用している方もおられますが今後も地域包括センターと協働して利用できるように支援して行く	※	情報交換を行い地域包括センターとの連携を強化して行く

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 地域の認知症専門医と相談しながら、適切な医療が受けられるように通院介助、受診し、往診して頂き情報を共有している。 (外部評価) 利用者の状態変化や健康面での心配ごとに関する相談にも適切に対応している。協力医療機関から2週間に1回の往診があり、また休日・夜間を問わず対応できる体制を整えており、家族にも医療面での安心感がある。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師と協力医療機関契約を結び適切な指示や助言をして頂いたり、脳神経内科医師とも相談に応じて頂ける様に支援している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 24時間の医療連携を図り、毎週1回看護師に来て頂き健康管理や状態変化に応じた支援やアドバイスを頂き関係を密にしている	※	医療連携の看護師の記録を基に職員全員が把握できるように伝達のノートに張るようにしている
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時に情報を医療機関に提供し、職員もお見舞いに行き、情報を交換しながら、回復状態を把握して退居支援を行っている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化についてのマニュアルや意思確認書は作成しているが最後の方で医療行為があるため入院に成っている (外部評価) 利用者の重度化に伴い、希望する利用者及び家族については看取りをホームで対応している。看取りについては重要事項説明書にも明記し、入居時に説明を行って確認してもらっている。	※ ※	看取りに対しての各関係機関と職員全員でどう取り組むのか勉強会を行っていく 看取りについてのケアの技術向上を目指して職員の研修を重ねていく予定であるため、今後の取り組みが期待される。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や御家族の意向を大切にし、終末期が訪れた場合には、その都度話し合いを持ち、すぐ対応してくれる医療機関と密に連携を図れるようにしている	※	あらゆる場面を想定して勉強会を持ち常に対応できるようにして行こうと思います
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの暮らしが継続できるように、注意事項支援状況を詳しく提供しリロケーションダメージを最小にしている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 入居時に個人情報の確認と排泄や介護記録についても他者に見られないように注意を日頃より心がけている	※	職員の意識向上を図るようにし点検し、本人の誇りやプライバシーを損ねないように対応を徹底するようにもう一度勉強会などで話合う
			(外部評価) 居室への入室時には必ずノックや声かけを行い、了解を得ている。また、トイレの使用時や着替えの時などもプライバシーを守るよう全職員に徹底している。記録類は、個人情報に配慮して適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) その人に合った選択する場面を提供し、自己決定して頂くように演出している（おやつ時、服、レク活動、散歩、行事等）		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の気持ちを尊重し体調に配慮しながら、関わって行くようにしている。時間に縛られる事なく個別性のある支援をしている (外部評価) 理念には、「お一人おひとりのその人らしさを大切にしながら」とある。利用者が穏やかに心豊かに過ごせるよう、職員はそれぞれの利用者のペースに合わせ、希望を取り入れながら真摯に向き合って支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容は、本人の望む店を利用し、化粧や衣服など利用者に決めて頂き不十分な所はさりげなく直している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 台所に立って調理、味見、盛り付けなど一緒に行っており一人ひとりの力を活かし、大切な活躍の場となっている。 (外部評価) 食事の時間は利用者にとって楽しみな時間であり、利用者は「いもたき」や昔懐かしいおふくろの味などを味わいながら、会話が弾んでいる。誕生日会には該当する利用者の好みのメニューを献立に取り入れている。	※	時々、食材など近くのスーパーに利用者と買いに行きようにして行きたい
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の嗜好を把握して、ビールやヤクルト、ふりかけなど日常的に楽しめるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表にてパターンを把握し、トイレでの排泄を促している。リハビリパンツやオムツを減らし、下着にパットを使用して出来る限り気持ち良く過ごせるようにしている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望に応じ、毎日入浴したり、タイミングに合わせて入浴の声かけを行っている。午後からの入浴であるがなじみの時間となり楽しみになっている (外部評価) 入浴拒否のある方もいるが、職員の声かけや誘導の工夫により入浴を楽しめるよう支援している。日曜日はホーム行事等があることも多いため、入浴は省いている。トイレにもシャワーの設備があり、清潔にするための配慮がみられる。	※	夕方の希望があれば対応していくように心がけている
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は、居間や食堂にてレクやテレビ鑑賞されたりし、本人の好きな時間帯に居室で横に成られたり、その時の状況に応じ和室で横になり休息するように支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 得意分野を活かし出来る事を引き出し、役割としている。役立っているという思いをもって頂き張り合いのある日々を過ごせるように支援している。(野菜の水やり、鶏の餌やり、新聞取り、食材配達散歩など) (外部評価) 一人ひとりにふさわしい役割を用意しており、それぞれの方が各場面で役割を果たしている。短歌・習字・来客者等へのご挨拶・編物・計算・畑仕事・歌・包丁とぎなど、利用者のできることを把握し、出番を作っている。畑の作物の成長は利用者にとって楽しみ・喜びになっている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 力量に応じて小額なお金を持っており買い物時は財布から支払うように見守りしている	※	定期的でも買い物に行ける様に計画を立てていく。施設長が買い物に行くときに利用者も一緒に連れて行って頂く様にして行く
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 個別に散歩や買い物、又外食、ドライブなど戸外へ出る事を積極的に行っている (外部評価) 車いすにも対応したホームの車で、道の駅、花見、公園などにドライブに出かけている。玄関先や裏の畑へ出て景色を眺めたり美味しい空気を吸うことも楽しみになっている。	※	利用者は、食べる事が楽しみなので外食を増やして行きたい
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 足浴など利用者の思いが反映できるように要望を聴きながら計画を立て実行している	※	利用者の誕生の月に本人の希望の場所に家族や職員と外出できるように支援して行く
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望時や送り物が届いた時など電話したり、友人に手紙を書いたりできるように支援している。	※	年賀状なども書いて頂いているので継続して行く
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 気軽に訪問できるような雰囲気作りに心がけ少しでも長く居ていただく為にお茶を出して過ごして頂くようにしている		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束の対象となる行為を職員で勉強しベットから床に布団を敷き柵をしないようにケアの取り組みを行っている	※	年に1回は勉強会を行い、職員で確認し合って取り組んでいく
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵は日中開けていて散歩にいけたり自由に出入りできる。帰宅願望時、利用者の行動のパターンを把握しており、その状態時、歩き見守りをしている (外部評価) 夜間は防犯目的で鍵をかけているが、日中は自由に出入りできる。帰宅願望が強い利用者、職員は気長く寛大な気持ちで話を聞き、否定しない対応に努めており、実際に自宅までお連れしたこともあるなど、気持ちが落ち着くまで寄り添っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者のそばで記録したり、夜間2時間ごとの見回りを行い居室の廊下が見通せる所で記録し安全確認を行っている		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬など事務所で管理し、利用者の状態に合わせ注意の必要な洗剤などは利用者の目に届かない所に保管している		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止の為、ベットの使用を中止し、鈴やベル、滑り止めマットなど利用し誤薬などないように必ず名前を呼びながら確認している	※	ひやりハットなども記入しているがそれを基に事故防止の為に案を出し合っている

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当の勉強会（消防署による）を行っている。夜間帯は、緊急マニュアルに添って行動するようにしている	※	医療連携の看護師による勉強会を開いて行きたい
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災や地震を想定しての避難訓練を行ったりマニュアルを作成し、職員間で把握し非常用に飲水、オムツ、くすり、備品を準備している。近隣の方々にも火災時の協力依頼をしている (外部評価) 年に2回、消防署の協力の下で防火訓練を行っている。運営推進会議を通じて地域の方の協力が得られる方向に進んでいる。火を出さないことが一番だが、利用者の安全を大切に考えた災害対策に取り組んでいる。	※	地域の方々の協力を得られようにより頃より会話や行事の声かけしたり、御すそ分けなど継続していきたい。地域の方もホームの周囲の草引きなど協力して下さっている
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 起こり得るリスクを契約時に必ず話して自由な暮らしの大切さの中にはリスクも伴うことを理解し対応策を話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタル測定をし普段との変化がないか、気づいた事があれば必ず報告し情報を共有しDrに相談し速やかに対応している	※	健康管理に対して、常に注意しており変化にはいつも心配りしている
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルで誰が見ても分りやすくし薬の変更時には、伝達ノートに詳しく記入し情報を正確に把握、症状の変化を確認し合って報告している	※	確認の意味で時々薬剤師を招いて勉強会を持ちたい

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分を多く取る事やラジオ体操や散歩など体を動かすようにしている。食事面では、野菜、繊維質、果物など多く取り入れるようにしている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけをし、能力に応じて手を添えて介助し就寝前には義歯除菌を行っている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記入し、体重の変化も把握している。散歩や入浴後の水分補給を必ずするように支援している (外部評価) 体重測定による体重変化から病気発見につながった事例がある。バランスの取れた食事内容になるよう野菜を豊富に取り入れたメニューにしている。水分補給のため、就寝時にはペットボトルに湯冷ましを用意している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症マニュアルを作成し、手洗いの徹底、調理器具の消毒、汚染物の消毒と取り決めをしており実行している。職員や利用者はインフルエンザの予防接種を全員行っている		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁、布巾など毎晩消毒、殺菌している。冷蔵庫などの衛生管理に努め食材も安全で新鮮なのを使用するようにしている		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先には長椅子を設置し、立ち寄ってひと休み出来るようにし、プランタンも置いて誰もが眺め易く季節感のあるものとしている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 生活の音や匂いが漂い、畳もあり自由に横になれ居心地よいスペースと成っている。又ベランダに自由に行けて、裏には農園や鶏小屋があり四季折々の風景が楽しめます (外部評価) 天窓からの柔らかい光が差し込み、明るく風通しも良い共用空間は、居心地良く過ごすことができる。広いデッキでは運動会等の行事を開催し、屋根もあるため天候に関係なく洗濯物も干すことができる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関の外、廊下、ベランダに椅子を設置してあり自由に仲のよい利用者同士や1人でも過ごせるようにしています		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) その人に合わせて、仏壇や写真、なじみの家具など使い慣れたものを持って来ていただき、居心地良く生活できるようにしている (外部評価) 居室からの眺めは、昼・夜間を問わず素晴らしい。仏壇・写真・家具など利用者それぞれに思い思いの物を家族の協力を得ながら持ち込んでおり、安心した生活を送れるよう工夫されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度や湿度は利用者に合わせて行い自室やトイレなど換気扇と消臭剤で悪臭が出ないようにしている。トイレは、1日2回毎日掃除しています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下や浴槽、トイレなど手すりを設置し安全に配慮し、ベランダ、玄関などバリアフリーにし安全確保と自立への配慮をしている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の入り口に画用紙で大きな表札を作っている。トイレも分りやすく「トイレ」と字を書いて間違えないように工夫をしている。居室の表札は、奥に行く程高く見え易くしている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の裏に畑があり、野菜を作ったり、散歩ができるようにしており、中庭にはウッドデッキがあり色々な行事で楽しめ洗濯物を干しなどができるようにしております		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	本人の願いに対して、散歩の準備、鶏の餌、カラオケ、お茶とう等の準備し見守りするように努力している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつの時間や夕食後テレビ鑑賞しながら、ゆっくり過ごして出来るだけ対話を持つようにしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人ひとりのペースで食事をゆっくり焦らせないようにしたり、体調を見ながら横になって頂いたり、起床や消灯も本人のペースで自由に行っている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人の力を発揮されている時活き活きと表情も笑顔もあり楽しそうに感じられる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけしているがあまりここへ行きたいと言う要望は少ないが買い物や散歩、毎月1回はどこかへ外出するようにしている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2週間に1回は主治医の往診があり看護師も来てもらい日頃から健康管理や状態を把握して不安なく過ごしている。本人の希望の病院も通院介助も行っている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の要望に応じて散髪や買い物、病院等できる限りの対応を行っています
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時や電話連絡をしたり、介護計画を立てるとき等その都度要望を聴くようにしております。遠距離の御家族が多数おられますので信頼関係を出来る限り築けるように生活状況など連絡を密にしています
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	ボランティアの方による公演していただき、利用者の家の近くの方にも訪問時、また来て頂けるように声かけを行っている

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を開催して行く内に委員さんの協力のお陰で運動会、バザー、公民館活動に呼んで頂いたりボランティアも多く訪問して頂けるように成りました。保育所の訪問は、園児と触れ合う機会となりいい思い出に残るものでした。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員は利用者ひとり1人の様々な事に対応して一生懸命に努めていますが要求が多い時は苦慮している。行事などの外出は生き活きとしている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	表情や笑顔があり、笑声がある時満足しているかなと思います
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会や手紙などでお礼を言われたり、感謝の言葉を頂くとホームに入居されて良かったと思っていますと感じます

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

ホームの裏には、畑があり苗を植えたり、収穫が出来たり鶏も飼っており食材としても使用して本人の力の発揮にもなっております。又、中央に居室から出られるバリアフリーのベランダがありそこで夏まつりのバーベキューやそうめん流しなど行事等が楽しく行われ御家族様と楽しいひと時を送っています。散歩の途中には手作りのベンチを設置して休憩場所として地域の方々と一緒に対話したり、お茶つきや花にも触れ合うことができ、四季折々の景色を眺められゆったりと過ごせるようになっております。出来るだけ利用者の力を発揮できるように取り組み、笑顔で接し喜怒哀楽を共に感じ合いお一人ひとりを大切にしています

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

春のうらら

(ユニット名)

つくしんぼ

記入者(管理者)

氏 名

篠原美紀

評価完了日

平成 20 年 9 月 1 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域と共に、あたたかいうららかなホームを目指し、お1人おひとりととても大切にしようと、独自の理念を柱として作りあげている。 (外部評価) 「お一人おひとりのその人らしさを大切にしながら、地域にとけ込んだ暮らしの中でうららかなあたたかいホームを目指します。」と理念に掲げている。地域との関係性を重視し、一人ひとりの心や生活を大切に思いながら日々のケアに専念している。	※	もっと短く身近なものに変えていきたいと模索中である。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 食堂やロッカー、また、タイムカード前に理念を掲げ、サービス提供前に意識づけながら、日々の実践に取り組んでいる。 (外部評価) 職員は、当ホームらしい理念と捉え、大変気に入っているとの話を伺えた。理念が利用者の喜びや家族の安心の源となり、職員の遣り甲斐に繋がっており、常に理念に立ち返りながらケアに取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 公民館や病院などに、パンフレットを設置したり、地域の集まり（掃除、イベント）の参加の他、新聞等を発行し、地域に配ったりと、事業所の実践を伝えるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩途中にベンチを設置して、ご近所の人と気軽に話ができるようにしている。また、行事等にご近所の方をお呼びしてふれあう機会を設けている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事に積極的に参加し、今年は、地元の保育所との交流も行う事ができた。 (外部評価) 地域の一員として根付いていくことを目標に、機会を捉えて取り組んでいる。散歩に出かけた際に挨拶を交わしたり、車で道行く人に逢った時にも止まって車から窓を開けて声をかけるなどしている。		地元中学生によるワークキャンプの受け入れを今後も、継続的に行っていきたい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 近隣の高齢者のゴミ出しなどのお手伝いを行っている。また、イベント行事へお誘いしている。	※	地域住民を対象に、認知症の理解や接し方の勉強会を開催していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) サービス評価の意義や目的を全職員に伝え、全員で自己評価に取り組んでいる。改善に向けて具体的案を立て努力している。 (外部評価) 自己評価は、ユニットごとに全職員が一つひとつの項目について自分の言葉で文章化し、ミーティング時に討議して内容を深めていった。評価についての改善計画は記録にも残し、意欲的に進めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で取り組みの報告を行い、構成員より率直な意見や情報を頂き、具体的な次の取り組みに繋げている。	※	今後、運営推進会議が、より開かれた潤いのある会となるよう、行事に組み込むなど思考を凝らしていく。
			(外部評価) 2か月に1回実施し、地域の理解や支援を得るための貴重な機会になっている。内容が報告・計画・反省に留まることなく、双方の学習の場として展開していくことが望まれる。	※	利用者が生き生きと過ごせるためのサービスの質の向上に活かせる内容を討議、学習していく場となることを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) わからない事など、よく相談したり、できるだけ市町村担当者の所へ書類を持って行き、取り組み、情報等、会話する機会を作っている。		
			(外部評価) 施設長は元市役所勤務であり、顔馴染みの職員もおり、ホームの運営関係で相談することがある。書類提出等の際には市に出向き、利用者のサービス向上のための連携を深めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修や学習の機会が少なく、十分に理解してない。	※	今後、学習する場や機会を持ち、職員全員が理解を深めたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会にて高齢者虐待防止法に関する理解浸透に向けて学び日々注意している。	※	今後も、言葉の虐待などがないように気をつけたい。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用料金や、リスク、重度化や看取りについて、契約時に、詳しく説明して、同意を得るようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の訪問を受け入れ、相談にのって頂いたり、利用者の言動や態度から、その思いを察し、利用者本位の支援を心がけている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 御家族の面会時や電話を利用し、情報交換を行っている。また、毎月の新聞等で近況を報告し、金銭についても、用途の確認や、レシートを毎月送り、金銭出納関係の報告を行っている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族参加の行事や面会時に、意見や苦情等が出た時、前向きに受け止め、ミーティングで話し合い、反映させている。(苦情ボックスも設置している。)	※	家族会を設けてないので、家族同士の集まりの場で意見を出して頂けるような仕組みを作っていく。
			(外部評価) 利用者の生活ぶり・エピソード・衣替えのお願い・行事予定等と、担当者による一筆も添えた「ホーム便り」は家族にも好評である。家族等の来訪時には積極的に声をかけ、健康状態や日頃の様子を伝えながら、意見や要望を話しやすい雰囲気づくりに努めている。		
			(外部評価) 苦情は宝と考えている運営者や管理者の姿勢は家族からも信頼を得ている。意見や苦情等の内容、対応、結果、今後の対策等を記録に残しており、何度でも見直すことができるようにしている。また、家族会の設立を検討している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全体のスタッフ会で、職員の意見、要望を聞き、意見を反映するよう心がけている。職員の提案は、実行して見守るようにしている。	※	改善、意見ノートを設置して質の向上に取り組んでいきたい。
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ある程度の人員のゆとりを持って、シフトを組んでおり、緊急や、診察等、対応できるようにしている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は、必要最小限にとどめてある。新しい職員の場合、利用者に紹介して、スムーズにケアが行えるようにしている。 (外部評価) やむを得ない離職や異動は利用者や家族にもきちんと報告しており、職員の声かけや対応により利用者への影響は見受けられない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 社内研修や、外部の研修の機会に参加しやすいように、声かけを行っている。 (外部評価) 運営者と管理者は、職員の研修参加に理解があり、職員育成への熱意も感じられる。ホームの立ち上げ時には、県グループホーム連絡協議会の会長をスーパーバイザーとして相談し、問題解決に取り組んでいる。研修参加後は伝達研修を行い、報告書も残している。	※	職員のモチベーションを上げ、年1回は、研修に行ってもらえるように声かけしていく。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 近くのグループホームが来所され、利用者と交流を図れるように取り組んでいる。また、今年から、市内のグループホームの視察を交代で行っている。 (外部評価) 市内グループホームの視察をして説明を聞いたり、理念やケアにおける悩みごとについて話し合うなどして、交流を深めると共に日々のケアに活かしている。	※	順番に、職員が視察に行けるといい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員のストレスをなるべく共有して、溜め込まないように話し合い、相談に応じるようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者も、頻繁にケアに就き、業務を行い、職員の努力を把握している。職員は、役割を持つ事で、自信や責任を持って働けるよう心がけている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に面談し、生活状況を把握するようにし、本人や家族に会って、不安にならないよう十分に話し、思いを受け入れながら、信頼関係を作るよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 御家族の体験や、今までの経緯を事前に聞いたり、状況に合わせて、事業所としてどのような対応ができるか話し合い、ご家族自身を受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人、御家族の思い、状況等を確認しながら、地域のケアマネジャー等と連携を図りながら、必要なサービス機関に繋げる柔軟な対応をしている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) サービス開始前に、ホームに見学に来て頂き、他の利用者や職員と会話して過ごして頂くなど、不安を与えないようにしている。 (外部評価) まず、本人や家族にホームを見学してもらうことから始めており、ソファでゆっくりお茶を飲むなどしながら安心して過ごしてもらえるよう配慮し、信頼関係を築いていけるよう努力している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔培ってこられた経験をふまえた上で、日常生活の中から、支え支えられる場面を設け、大切にしている。 (外部評価) 人生の先輩として今まで培ってきたことを披露してもらう場面も多く、教えられること、助けられること、学ぶことが数多くあり、職員はそれに対して「すばらしいですね」「ありがとうございます」など、言葉でお礼の気持ちを伝えている。職員が出勤すると、利用者から「おかえり」と言ってもらえることもある。	※	個々の得意分野を今以上に引き出し、力を発揮できるよう支援する。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時を利用して情報交換を行い、職員間で情報の共有に努めている。面会が遠のいている御家族には、近況を電話等でお知らせしながら、相談などについていただいている。		御家族の面会時など、情報交換を密にし、常に一緒に本人を支えていることを意識し合いながら、サポートしていけるようきめ細やかな配慮を行っていく。。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の気持ち、御家族の状況を踏まえた上で、間に立ちサポートしている。御家族の負担にならないよう配慮している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 地域の行事ごとへの参加のはたらきかけを行いながら、交流が途絶えないよう支援している。(地域振興券を使つての買い物支援等) また、馴染みの方や、親しい友人などの訪問の際は、ゆっくり気兼ねなく過ごして頂けるようなふいんき作りに努めている。	※	出来ている方と、そうでない方がいる。御家族と、もっと話し合いながら、支援していきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を見守りつつ、頃合いを見て、間に入るようにしている。食堂の座席変更により、関係が深まり表情が明るくなった利用者もおられる。	※	職員の声かけが誤解の対象にもなるため、気配りを怠らない。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院のため退去された方への見舞いに行ったり、お会いすれば、挨拶を交わしている。	※	個人情報の配慮を怠らない。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 会話や表情などから、思いや意向を察知し、思いの把握に努めている。御家族との面会の折に触れ、本人の思いや意向を伝えており、話し合いをして行く中で、少しずつ面会などの機会が増えている状態。 (外部評価) 理解力はあるが会話が困難で体調が安定しない利用者にも、笑顔で明るく接しながら声をかけることにより、微妙な調子や気持ちを把握することが可能になっている。センター方式を活用したり、介護記録に気づいたことを記録することで共有し、役立てている。	※	今後も、本人や家族の思いや意向が叶えられるよう努めたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時の情報収集を参考にしている。また、入居後に把握した情報については、職員間の情報の共有に努めている。	※	今後もセンター方式の活用の充実と、職員の情報の共有に努める。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日の申し送り時には、身体変化と共に、表情や行動についても、把握できるよう伝え合うようにしている。		お一人おひとりのライフスタイルや、生活のリズムを大切に支援をしていく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 申し送り時、ミーティング時に、スタッフ間で話しあっている。本人、御家族へは、担当職員が意向を聞き、本人の思いに添えるような介護計画作りに取り組んでいる。 (外部評価) 利用者の日々の様子をよく観察していく中で、気づいたことなどをスタッフ会議で意見を出し合い、介護計画を立案している。計画更新の際には、特に家族の要望も反映させながら作成している。	※	利用者の求めている事や、御家族の希望等を繰り返し聞き取り、計画に反映していけるよう、今後も取り組んでいきたい。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 御家族への相談報告は、電話や面会時行っている。介護計画を3ヶ月ごとに立て、見直しを図ると共に、毎月のモニタリングを行うようにした。現状の変化に応じ、計画の見直しを行っている。 (外部評価) 介護日誌を、介護計画の見直しを行う時の大きな手がかりとしている。利用者の状態やレベルの低下が見られた時には、その都度ふさわしい計画になるよう検討している。	※	今後、家族参加型のケアカンファレンスが行えるといい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) ケアプランの実践状況については、青線で記し、朝夕の申し送りや、申し送りノートによる確実な伝達に努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) ご本人や御家族と、利用者の状態に合わせた柔軟な対応が行えるように努めている。	※	今後、運営者と相談していく。
			(外部評価) デイサービス実施を計画したこともあったが、実施には至っておらず、今後の課題となっている。運営者を中心に、多機能性を活かした支援に積極的に取り組んでいこうという意欲がある。	※	デイサービスの実施など、利用者や家族の要望に応じた取り組みを深めていくのは今後の課題であるため、より臨機応変に柔軟に対応できるよう取り組んでいくことを期待する。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域のボランティアを積極的に受け入れ、協力を頂いている。夏祭りの際は、職員が地域のボランティアグループへ足を運び、盆踊りの練習に参加した。	※	今後は、利用者の意向を取り入れ、ボランティアを多方面から募っていききたい。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在、他のサービスを利用していない。	※	今後、必要があれば対応できるよう支援していく。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターについての理解が不十分である。	※	情報交換を積極的に行い、ホームとの関係作りの強化に努め、理解を深めたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 定期的に協力医の往診を受けている。往診日以外であっても電話にて相談にのって頂いたり、休日や、夜間帯も対応して頂いている。 (外部評価) 利用者の状態変化や健康面での心配ごとに関する相談にも適切に対応している。協力医療機関から2週間に1回の往診があり、また休日・夜間を問わず対応できる体制を整えており、家族にも医療面での安心感がある。		利用者の受診については、緊急な場合は、ホーム職員にて対応。御家族に病状を知って頂き理解を得るため、御家族に依頼する場合もある。
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 提供医療機関は、認知症専門医ではないが、熱心に御家族や職員の相談にのっていただいている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 月4回の看護師による健康管理、チェックや指導を受けているも、緊急時の対応については、施設長や、管理者に連絡を取っている。	※	看護師による健康チェックや、指導を、今後、より細やかに、継続的に行う事により、情報の共有や連携に繋げたい。
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院の際は、ホームでの生活の情報を正確に提供するという心がけている。入院後は、主治医と御家族での相談が多い。		利用者の見舞いにたちよっている。入院時、本人はもとより、御家族が安心して治療に専念できるよう心くばりを忘れない。
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 状況に応じて、主治医、御家族と相談している。ターミナルの取り組みは、準備段階である。 (外部評価) 利用者の重度化に伴い、希望する利用者及び家族については看取りをホームで対応している。看取りについては重要事項説明書にも明記し、入居時に説明を行って確認してもらっている。	※ ※	本人の気持ち、御家族の意向を踏まえ、早い段階から話合う機会を持っていく。 看取りについてのケアの技術向上を目指して職員の研修を重ねていく予定であるため、今後の取り組みが期待される。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ご本人、御家族の意思を大切に、終末期が訪れた場合には、その都度話し合いを持ち、できる事できない事を納得して頂いた上で、安心した最期を迎えられるような体制作りや緊急時に対応して頂ける医療機関の確保が必要である。	※	今後の対応について、利用者や御家族はもとより、職員が不安なく支援できるよう方針の共有を行う。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの暮らしができるように、アセスメントや注意事項、支援状況などの情報提供を行い、ダメージを最小限にする。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 人格を尊重し接している。お互いの関係作りができていれば、一見馴れ合いに聞こえるやり取りが、心地よい響きに感じ取れるのは、間違っているのだろうか・・・ (外部評価) 居室への入室時には必ずノックや声かけを行い、了解を得ている。また、トイレの使用時や着替えの時などもプライバシーを守るよう全職員に徹底している。記録類は、個人情報に配慮して適切に管理している。	※	馴れ合いと、信頼関係との違いとは何か？常に自分自身に問いかけてみる。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 個々の関りの中で、希望や要望を引き出せるよう配慮しているも、共同生活の中で、難しい事もある。	※	希望や思いを伝える事が、なかなか出来ない利用者の心の内を引き出したり、遠慮なく伝えて頂けるよう気配りしていきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 全体での行事等は、職員側で計画を立てている事が多い。日常の活動については、利用者の意見を反映できるよう気をつけている。 (外部評価) 理念には、「お一人おひとりのその人らしさを大切にしながら」とある。利用者が穏やかに心豊かに過ごせるよう、職員はそれぞれの利用者のペースに合わせ、希望を取り入れながら真摯に向き合って支援している。	※	お一人おひとりの役割りを、その時々、場面に応じたスチューションを行う。また、興味事を探り、支援する事で、生活に喜びや潤いを味わえるよう努めたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容については、本人の希望や、御家族と相談しながら、職員対応や、御家族の協力も得ながら、対応している。日々の髭剃りや、化粧品等の身だしなみへの支援も行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立ては、季節感を考慮しながら職員が立てている。準備や片付けは、可能な限り利用者の力をお借りしている。食事はゆったりと会話を持ちながら、和やかに食卓を囲むようにしている。 (外部評価) 食事の時間は利用者にとって楽しみな時間であり、利用者は「いもたき」や昔懐かしいおふくろの味などを味わいながら、会話が弾んでいる。誕生日会には該当する利用者の好みのメニューを献立に取り入れている。	※	行事ごとの献立てを一緒に立てたり、食材の買い物の機会を増やしたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 希望に応じ支援している。タバコは、職員が管理しながら、喫煙所で吸って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々に応じた対応を心がけている。尿意のあいまいな方は、排泄表を確認して誘導し、ある方については、夜間のオムツも最小限とし、ポータブルトイレの使用も取り入れ、自立支援に向けた対応を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 日曜日は、面会の方も多くなるため入浴休みとしている。入浴日は、なるべく本人の希望に添えるよう声かけを行っている。拒否のある方へは、声かけの工夫を行いながら、清拭等を行い、清潔が保てるようにしている。 (外部評価) 入浴拒否のある方もいるが、職員の声かけや誘導の工夫により入浴を楽しめるよう支援している。日曜日はホーム行事等があることも多いため、入浴は省いている。トイレにもシャワーの設備があり、清潔にするための配慮がみられる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 眠れない原因は何か探り、取り除く努力を行う。本人が安心して休めるよう対応していく。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 昔とった杵づかを大切に、その時々の中での出番を設けるようお膳立てしている。 (外部評価) 一人ひとりにふさわしい役割を用意しており、それぞれの方が各場面で役割を果たしている。短歌・習字・来客者等へのご挨拶・編物・計算・畑仕事・歌・包丁とぎなど、利用者のできることを把握し、出番を作っている。畑の作物の成長は利用者にとって楽しみ・喜びになっている。		今後も、本人の生活歴や、趣味、能力に合わせた支援を行い、本人の喜びや気晴らしに結び付けたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を持つ事により安心される方については、持っておられるが、原則的には、ホームが管理し、トラブル防止に努めている。	※	今後、個々の力量に合わせて、自分の買い物ができるように支援していきたい。
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 日常的な散歩や、外出行事への参加は行っているが、個別の希望に添った外出は難しい。 (外部評価) 車いすにも対応したホームの車で、道の駅、花見、公園などにドライブに出かけている。玄関先や裏の畑へ出て景色を眺めたり美味しい空気を吸うことも楽しみになっている。	※	外出できて良かったと思って頂けるよう、職員や家族で協力していければ良いと思う。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 御家族合同のピクニックや、お墓参りなど、御家族の協力のもと行っているが、機会が少なく、ほんの一部分である。	※	本人の希望に添う事や、願いを叶えるために、本人の思いを御家族に伝えたり、御家族の意向を汲み取りながら、支援していく。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話を希望される際は、御家族に確認後行っている。手紙に関しては、ホームでの生活の様子など写真に添えて送っている。	※	ご家庭によっては、ホームで生活されている事を伏せておられる方もあるため、配慮が必要。絵手紙にも挑戦してみたい。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) どなたの御家族が来られても、「いらっしゃい。」「お久しぶり。」等、自然と誰からともなく声をかけて頂いている。「ここに来るとホッとする。」と言って頂いている面会者が多い。		今のアットホームなふいん気を今後も大切にしていきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束禁止の対象となる具体的な行為を、職員の勉強に取り上げ、話し合い、意識づけを行いながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		今後も、勉強会を重ねていき、職員全員で知識を深めると共に、実践していきたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアの大切さを理解し、取り組んでいる。 日中は、玄関の鍵をかけないようにし、散歩等の際も、離棟の心配のある方は、テラスや、勝手口からの外出を促し、安全の中にも本人の安心感を重視している。 (外部評価) 夜間は防犯目的で鍵をかけているが、日中は自由に出入りできる。帰宅願望が強い利用者に、職員は気長く寛大な気持ちで話を聞き、否定しない対応に努めており、実際に自宅までお連れしたこともあるなど、気持ちが落ち着くまで寄り添っている。	※	ホームが本人にとって安心できる場所となる事が、鍵のいらない生活であり、そうなる努力をしていきたい。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) プライバシーに配慮した声かけや、見守りを行っている。外出時などは特に注意を払い、事故防止に努めている。夜間帯は、気配を感じる場所で記録を行うなど、気をつけている。	※	今後も、プライバシーに配慮しながら、離党などによる事故防止に努めたい。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個々のその時々状態を話し合いながら、管理をしている。共有の包丁やハサミなどの使用の際は、職員見守りのもとで使用していただいている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 服薬時には、声に出して確認しあっている。離棟の心配のある方に対しては、外出時に担当職員を決めている。入浴介助の際は、安全面を第一に考え、無理の無い介助を心掛けている。		今後も、日々のヒヤリハットを活かし、再発防止や、ケアの改善に繋げていけるよう取り組んでいきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 救命救急法の講習を定期的に受講しているが、緊急時に慌てず、適切に対応できるか、不安もある。	※	今後も、定期的、かつ継続的な講習の受講を行い、全ての職員が、緊急時に対応できるよう取り組む。取り組みについては、新聞等で、御家族へ伝えていく。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) マニュアルの作成を行い、定期的に訓練を行っている。 非常用品の点検や、近隣の方への協力依頼も行い、了解を得ることができた。 (外部評価) 年に2回、消防署の協力の下で防火訓練を行っている。 運営推進会議を通じて地域の方の協力が得られる方向に進んでいる。火を出さないことが一番だが、利用者の安全を大切に考えた災害対策に取り組んでいる。		
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 入居時に、起こりうるリスクを御家族に話し、力の発揮や自由な暮らしの大切さの中には、リスクを伴う事などを話し、取り組んでいる。	※	今後、機会あるごとに、説明を行っていききたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルチェック表による確認や、申し送りにて共有している。また、職員の気づきを大切に、早期対応に結びつけている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬ファイルを作成している。申し送りノートや介護記録に薬の変更等、その都度記入している。服薬の支援は、誤薬のないよう声に出して、日付、名前の確認を行っている。	※	今後、協力医や薬剤師、看護師による勉強会を重ね全ての職員が理解を深めていきたい。

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜中心の献立、こまめな水分の補給、適度な運動を促している。自力での定期的な排泄が困難な方に対しては、軟便剤や緩下剤の服用にて調整を行っている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に合わせて、毎食後のうがいや、歯磨きの声かけや、見守り、または、介助を行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の食事や水分の摂取量について把握できている。毎月の体重測定を行い、気になる利用者については、往診時に、医師の指示を仰ぐなど、早めの対応を心がけている。個々の栄養についての細かい知識は、十分とはいえない。 (外部評価) 体重測定による体重変化から病気発見につながった事例がある。バランスの取れた食事内容になるよう野菜を豊富に取り入れたメニューにしている。水分補給のため、就寝時にはペットボトルに湯冷ましを用意している。	※	市の栄養相談窓口で、献立でのアドバイスをもらったり、アイデアを出していただくなど、さらに個々の栄養摂取状況を把握できるよう取り組みたい。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症にたいするマニュアルを作成しており、予防や取り決めがなされている。利用者や職員は、トイレ後や、調理や食事の前には、手洗いの徹底を行っている。	※	今後も、勉強会を重ね、すべての職員で感染症についての知識を深めていく。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁、ふきん等は、毎晩漂白し、殺菌消毒を行っている。また、新鮮で安全な食材の提供を選ぶようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 広々とした玄関は、夏場は網戸にして、開放感があふれている。また、季節の花々で来客をもてなしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 天窓からの自然の優しい光が入り、程良い明るさをおもてなししている。和室コーナーを設けており、自由にくつろげるスペースとなっている。また、冬場は、掘りごたつとして利用できるようになっている。 (外部評価) 天窓からの柔らかい光が差し込み、明るく風通しも良い共用空間は、居心地良く過ごすことができる。広いデッキでは運動会等の行事を開催し、屋根もあるため天候に関係なく洗濯物も干すことができる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居間には、ソファがあり、お話をされたり、和室の畳で横になって休まれたりする居場所がある。タバコを吸われる方は、テラスの隅に落ち着けるスペースがあり、利用されている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた家具や持ち物などの持ち込みの依頼をしているが新しく購入されて、持ち込まれた物も多く見受けられる。お位牌や、御家族の写真の持ち込みで、心穏やかに過ごせるよう心がけている。 (外部評価) 居室からの眺めは、昼・夜間を問わず素晴らしい。仏壇・写真・家具など利用者それぞれに思い思いの物を家族の協力を得ながら持ち込んでおり、安心した生活を送れるよう工夫されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気や温度調節を行い、快適な設定を心がけている。天井からのファンの利用や、冬場は床暖房を使用している。個々の居室にも、換気扇を設置している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下やホールは広く、車椅子での自操やシルバーカー歩行が安全に行えるようになっている。テラスへのは入り口もバリアフリーとなっており、生活の幅が広がるよう配慮している。居室には、洗面台も設置しており、車椅子での利用がしやすくなっている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ、風呂場などの目印は、利用者にわかりやすいよう工夫している。居室は、混乱され易い方には、印象に残る工夫を行っている。	※	居室になかなか馴染めない利用者に、これぞという目印を模策している。
87		○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外周りには、プランターや花壇に、季節の花を植え、行き交う地域の方にも、親しみを持っていただいている。広いテラスは、夏祭りのバーベキュー会場にも使われた。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	(自己 評価) ① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	自分の思いを素直に出していただけるよう関わっているが、内に秘めた願いや思いは、誰にもあると思うから。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 評価) ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	食事やテレビを観たり、お話をしたり、一緒にゆったりと過ごしている。ソファで一緒に寛いでいると、利用者の方に肩を揉んでいただいたりする。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	他の誰かの手を借りなければ、自分のしたい事ができない方は、気兼ねもあるのではないかと。やりたい事があっても、誰かに迷惑をかけてしまう・・・そんな言葉をお聞きした時、職員のペースになってないか考えてしまう。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	常にお世話をかけているという思いを持っておられるように感じる。職員がもっと喜びを感じている事を、伝える事ができたら・・・
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	外出の計画などの際、声かけを行い、希望をなるべく遠慮なく居言ってもらえるよう気をつけている。本当に行きたい場所や、会いたい人への協力は、まだまだできていない。御家族と情報交換を密にしていくなかで、糸口を見つける事ができたらいい。また、ちょっとしたおでかけの機会も増やしたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	かかりつけ医の往診が2週間に1度あり、看護師による週に1回の訪問も行っている。日頃関わっている職員の疑問や、不安に関しても、適切かつ親切なアドバイスをいただいております、利用者、職員共に、おおむね安心して生活していると感じている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 評価) ① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	体調や、家庭の事情、その他、その時々利用者の、御家族が今求めている事をキャッチし、無理の無い柔軟な対応を心がけている。自分だけでは判断しきれないような状況の場合は、他の職員や御家族と相談し、その時に対応できる最善の方法を見つけるよう努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 評価) ① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	面会時など、利用者の近況の他に、職員自身の身の上話などをしたり、話やすいふいん気作りに努めている。御家族が、今の心境を短歌にしたためられたり、今度面会に来た時、馴染みの職員さんが退職していたらどうしようと、心配されたりという具合に、信頼関係は出来ていると思っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 評価) ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	すべての利用者の方では無いも、親しく交流を持たれたお友達などの訪問があり、居室にて楽しい時間をすごされている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事ごとや、イベントなどへ足を運ぶきっかけとなり、今まで以上に地域を見直すことができた。また、行事を通して、外へでる機会が増えたことで、当ホームを地域の方々に知って頂く事が出来てきている事を感じている。
98	職員は、活き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行事事などが、職員にとって負担ではなく、喜びや達成感につながるよう得手不得手を、個性と捕らえ、得意分野で活躍する場面ももてる様、少ない人数で協力し合っている。体調不良時などは遠慮なく仲間同士言い合え、勤務交替しあいながら、無理のない勤務ができるいいチームワーク体制である。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	表情や、「あんたがいてくれてよかった。」、という言葉などから、満足と言うより、安心しておられるのだなあ、と感じる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	お世話になっているという言葉を超えて、助けられた、という言葉を知ると、逆に胸が詰まりそうになった。家で一緒にいると、言わなくていい事まで言ってしまう、母に優しい言葉をやっとなかけられるようになった、など、本音で思いを伝えていただいた時は、本当に良かったと思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・自然に囲まれた、ゆとりある施設である。
- ・利用者と職員との間で、毎日会話が飛び交う空間がある。
- ・利用者も職員も、共に寄り添い、支え合い、学びあい、分かち合い、笑いあいながら暮らしている。